



# 伊高へ行こう!

2022. 7 月号

鹿児島県立伊集院高等学校

〒899-2504

日置市伊集院町郡 1984 番地

Tel.099-273-2195

## 踊 鼓舞する感情、 繋がる絆

### 第75回体育祭

伊集院高校第75回体育祭が6月25日(土)、～途中雨で順延29日(水)に行われました。総体を終え、部活を引退した3年生にとっては、これから受験準備が本格化する節目にあたる学校行事でもあり、精一杯の競技や演技が見られ、大いに盛り上がりました。



競技の部、応援の部 で見事ダブル優勝の白軍：3 学年（終了後の全員記念写真）



応援団長  
田中 中才弦気さん  
(城西中出身)

### 1年 青軍

周りから推薦され、中学生時代に経験があったので、ぜひ挑戦したいと思い引き受けました。でも入学して数か月なので、まだ団員同士が打ち解けていない面もあり、意見交換やまとめる際にうまく進められませんでした。その分、団長として全員に対して積極的にコミュニケーションを図り仲良くなって、みんなを繋げていこうと心がけました。応援団員はみんな明るくて元気で、演武の練習から本番まで徐々に丸となることができました。今回初めて団長を務めましたが、来年度もチャンスを得ることができたらぜひ挑戦してみたいです。



応援団長  
有馬 快さん  
(伊集院北中出身)

### 3年 白軍

2年連続。学年主任の先生と、「やるか!」と意気込み、務めることになりました。人数が多くて、まとめることや演武の仕上がりが心配でしたが、内容は自分自身で決めたので、その分しっかり指導できるよう必死に覚えました。限られた時間での取り組みでしたが、完成した時の喜びと達成感は何物にも代えられない最高の時間になりました。周りからの目も気になりましたが、その期待に応えることに充実感があり、リーダーシップの大切さやそれに伴う責任感について学びました。



応援団長  
川村 将大さん  
(伊集院中出身)

### 2年 赤軍

自ら立候補しましたが、団長という役目の重圧は想像以上で、練習の進捗が思うようにいかず不安にもなりました。また、他学年の応援団の様子と比べて心細くなりましたが、演武指導はダンス部にサポートしてもらいました。表現者として、自分たちが一番かっこいいという意識を持つことで、向上心やより良いパフォーマンスに繋がったと思います。終わってみると素敵な仲間を支えられ、1・3年とは違う2年生らしさを表現でき、始まりから終わりまでずっと楽しかったです。来年も自分が団長をするしかない!そして、今年優勝を逃したので、来年は絶対総合優勝をしたい。



写真提供：伊集院高校写真部

進路指導  
林 秀幸先生



### いよいよ受験モードの3年生へ

伊集院高校には「最後まで粘って合格を勝ち取る!」という伝統があります。これまではE判定から合格した例もあり、そのような生徒は空き時間をきちんと活用しながら最後まであきらめず、粘り強く継続して勉強に励んでいました。一日に割く時間は短くても、積み重なると大きな成果に結びつきます。心がけ次第ではこれから受験までの時間で自分たちにできることはたくさんあります。中学校3年生の皆さんにとっても勝負の夏がやってきます。まずは1、2年の総復習を～基本に粘り強く取り組むことは必ず応用の克服につながります。

### TOPICS

#### 初の経験は「満点」

伊集院・赤鹿主将宣誓  
○：選手宣誓の大役は、伊集院の赤鹿主将を務めた11号員、清水裕貴撮影。引き締まった表情で「最高の夏になるよう最後まで全力でプレイする」と力強く叫んだ。  
チームメイトや顧問に相談しながら、文言を決めるまで1週間を費やしたという。保護者らを支えてくれた人に感謝の気持ちを込めて、「入場行進や選手宣誓など、初めての経験をさせてもらってうれし。宣誓は百点満点のできごとと充実した表情を浮かべた。(今村精太郎)」



※伊集院高校の情報や、伊高生の活躍の様子は公式ブログでも見ることができます。ぜひご覧ください。

公式ブログ



伊集院高校公式ブログ

2022年7月3日付  
南日本新聞

7月2日に開幕した第104回全国高校野球鹿児島大会開会式で伊集院高校野球部の赤鹿主将が選手宣誓を行いました